

野外講座

春の比叡山のふもと、日吉大社と坂本の町へ

講師 千種 清美 文筆家・皇学館大学非常勤講師

平安時代、伝教大師・最澄によって開かれた比叡山。そこには古くから、「大山くいの神」が在し、日吉大社が創建されます。この神は、延暦寺を守る「山王権現」とされ、神仏習合が進められていきます。西本宮の本殿の床下には、神仏習合時代、仏教の儀式が行なわれていた空間がありました。「下殿」といいます。特別参拝をいたします。また、日吉大社では勇壮な神輿渡御で知られる4月の「日吉山王祭」に向けて、神輿が上げられ、毎日お灯明が上げられるなど、準備が進みます。健脚な方はぜひ、山道を登り磐座へ。そこでお灯明が上がる牛尾宮、三宮宮を拝み、琵琶湖のすばらしい景色を眺めましょう。昼食は延暦寺の里坊のひとつであった白毫院跡の料亭芙蓉園で国指定名勝の庭園を見学してからいただきます。そのあとは、時間が許せば石山寺も参拝します。(歩きやすい服装で飲み物、おやつなどお持ちください)

日時 3月21日(日) 7:30~17:30 参加費 会員 18,000円 ビジター 19,000円
(バス代・昼食代・拝観料(特別参拝含む)・保険料含む)

集合場所 7:25に五十鈴川駅集合 定員 15名限定

ミツマタ群生地を歩こう

五十鈴塾事務局

津市美杉町にあるミツマタ群生地は個人所有の森林の中にあります。1955年頃に森林の多目的利用のために植えられたのが始まりです。森林の間伐等の手入れで日光が入り、自然にミツマタが増えてゆき現在約15,000m²の群生地に至っています。ミツマタとはジンチョウゲ科に属しており、新葉が芽吹く前の枝先に花だけが開花し、芳香を放ちます。枝は3つに分枝し、これが「ミツマタ」の名前の由来となっています。強い繊維質の樹皮は、強度の高い良質の紙の原料として有名で、紙幣などにも使われています。春の暖かな陽気の中この群生地をガイドとともに歩きますか？うまく時期が合えば、三多気の桜も鑑賞しましょう。昼食は地元の手作りお弁当をいただきます。(歩きやすい服装で飲み物、おやつなどお持ちください)

日時 4月7日(水) 8:30~17:00 参加費 会員 6,000円 ビジター 6,500円(バス代・昼食代・保険料含む)

集合場所 8:25に五十鈴川駅集合 定員 15名限定

三重県立美術館「若沖と京の美術—京都・細見コレクションの精華—」展鑑賞会

講師 岡野 智子 細見美術館上席研究員

三重県立美術館にこの春、細見美術館名品展がやります！若沖・琳派をはじめとする江戸絵画の数々、「祇園祭礼凶屏風」などの祭礼や遊楽を描いた屏風、また志野茶碗「弁慶」や茶の湯釜を中心とする茶道具など、みやこが育んだ美術品が一堂に集まるまたない機会です。併せて蕭白など三重の江戸絵画も常設展に展示されますので、三重県美ならではの豪華な展示を堪能できるでしょう。当日は展示会の見どころを講堂でご案内した後、ミュゼボンヴィヴァンでフレンチをいただき、午後は岡野先生のナビゲート付で思い思いに鑑賞いたします。

日時 4月16日(金) 10:30~14:30 参加費 会員 4,500円 ビジター 5,000円(入館料・食事代含む)

集合場所 10:30に三重県立美術館集合 定員 15名限定 ※交通費は各自ご負担ください。

江戸のおしゃれを楽しむ～松阪木綿で散策～

五十鈴塾事務局

さまざまな柄柄を生み出した松阪木綿は、粋を信条とした江戸では最大限のオシャレであったとされています。正藍染めの糸で織られた松阪木綿を五十鈴塾で着て、城下町であり豪商の町でもある松阪の名所、旧跡をガイドの説明を聞きながら、約2時間の散策を楽しみます。昼食は櫛田川の清流を望む自然豊かなお店「よもぎ庵」にて無農薬でつくるごちそうご膳をいただきます。普段とは違う装いで、郷土の歴史や文化に触れ、日本の良さを再発見しましょう。※お申込み時にサイズをお伺いします。また着物用バックはお持ちください。

日時 4月21日(水) 9:00~16:30 参加費 会員 10,500円 ビジター 11,000円
(レンタル着物・着付け代・バス代・昼食代・入館料・ガイド料・保険料含む)

集合場所 9:00に五十鈴塾集合 定員 15名限定 ※雨天中止

せんぐう館とナンジャモンジャ

五十鈴塾事務局

平成29年の台風で被害を受け休館し令和になってリニューアルオープンしたせんぐう館。コロナ騒ぎもあって、なかなか見学にいけませんでしたが、勾玉池のそばに咲く真っ白なナンジャモンジャを見がてら出かけてみましょう。いろいろ趣向を凝らした展示物は遷宮がいかに日本文化の伝承に重要な役割を担ってきたかがよくわかります。じっくりと説明を伺い勾玉池側に行くとそこは一枚ガラスが池に向かって大きく開け、何時間でも座っていたいほどの癒しの空間になっています。ぜひ一緒に体験してみましょう。

日時 5月7日(金) 9:00~12:00 参加費 会員 1,000円 ビジター 1,500円(入館料含む)

集合場所 9:00に外宮表参道衛士見張所前集合 定員 15名

鈴鹿の芍薬畑と小岐須溪谷の屏風岩

講師 加藤 宏明 伊勢くすり本舗株式会社代表取締役・薬剤師

鈴鹿に全国でも有数の芍薬畑があることをご存じですか？東名阪自動車道の鈴鹿インター付近にあります。木が邪魔をして自動車道からは見えず、知る人ぞ知る存在です。なんと5000平方メートル、13000種、20万本の芍薬がぎゅーんと花を咲かせています。シンプルで清楚な感じの和シャクヤク、これはこれほどと思うほどゴージャスな洋シャクヤク、好みもありますがいずれも見事、白、ピンク、牡丹色、紫、赤などいつまで見ても飽きません。花を摘んだり、切り花にして持って帰れるように手配いたします。別に、切花や苗も売っていますのでおみやげにもできます。芍薬畑の後は椿大神社のレストランで名物鳥御飯、素朴ですが、しっかりした味付けでファンが多いのです。そこから少し山に入り小岐須溪谷に行きます。御幣川の上流で県の天然記念物に指定されている屏風岩という切り立った大岩があります。高さ30m、長さ130mの結晶質石灰岩でその大きさに息をのみます。緑が美しい季節、清流と奇岩を楽しみます。(歩きやすい服装で飲み物、おやつなどお持ちください)

日時 5月12日(水) 8:30~16:00 参加費 会員 8,500円 ビジター 9,000円(バス代・食事代・体験料・保険料含む)

集合場所 8:25に五十鈴川駅集合 定員 15名限定

朝熊山に登ろう

講師 松井 恒生 お伊勢さん観光ガイドの会

標高555メートルの朝熊山は正式には朝熊ヶ岳といいますが、頂上付近には臨濟宗の金剛證寺があり、霊山として敬われてきました。亡くなった人が登る山とされ、また信仰の山としても親しまれ、伊勢方面からはもとより、鳥羽、志摩方面から何本もの登山道がついていましたが、現在では2~3本のみが利用されています。今回は最も短い距離で登りやすくわかりやすい朝熊岳道から登ります。かつて東洋一といわれたケーブルカーの跡や一町ごとにある町石など見所もあります。展望台で昼食を取って、下山は宇治岳道を通ります。昔バスが通っていた道は勾配が緩やかでその分時間はかかります。途中展望が素晴らしいところもありますので、めげずに歩きましょう。到着は神宮の神域内になります。(歩きやすい服装でお弁当、飲み物、おやつなどお持ちください)

近鉄朝熊駅一登山口一朝熊峠展望台—八龍王社—経塚群—芭蕉句碑—金剛證寺—昼食(展望台)—宇治岳道

日時 5月19日(水) 8:30~16:00 参加費 会員 1,800円 ビジター 2,300円(登山保険料含む)

集合場所 8:25までに近鉄朝熊駅集合 定員 15名限定